

酸性雨のモニタリング状況

この調査結果は、平成22年度の市内での酸性雨の状況を調査した結果を取りまとめたものです。

1 調査方法の概要

- (1) 測定期間 平成22年4月～平成23年3月
- (2) 実施機関 郡山市環境保全センター
- (3) 測定内容等

測定地点は、次の2地点で、2週間単位でろ過式雨水採取装置に採取しました。

朝日：環境保全センター屋上

堀口：水道局堀口浄水場屋上

測定項目

pH、降水量、陽イオン、陰イオン

2 調査結果

表-1 に調査結果を示しました。酸性雨とは、狭義にはpH5.6以下の雨を酸性雨と呼びますが、年間の平均値は4.97～5.12の範囲にありました。

図2のとおり、平成5年からの測定結果ではpHが横ばい傾向にあります。

表-1 ろ過式酸性雨採取による調査結果

調査地点	年間降水量	pHの年間平均値	年間沈着量(単位:meq/m ² /年)											
			H ⁺	SO ₄ ²⁻	NO ₃ ⁻	Cl ⁻	Na ⁺	K ⁺	Ca ²⁺	Mg ²⁺	NH ₄ ⁺	Total-ion	nss-SO ₄ ²⁻	nss-Ca ²⁺
朝日	1112.2	5.12	8.5	29.6	24.2	27.5	17.5	1.7	13.8	6.2	54.5	183.5	27.5	13.1
堀口	1462.9	4.97	15.9	55.1	23.8	34.0	26.6	2.6	11.6	8.0	27.6	205.3	51.9	10.5

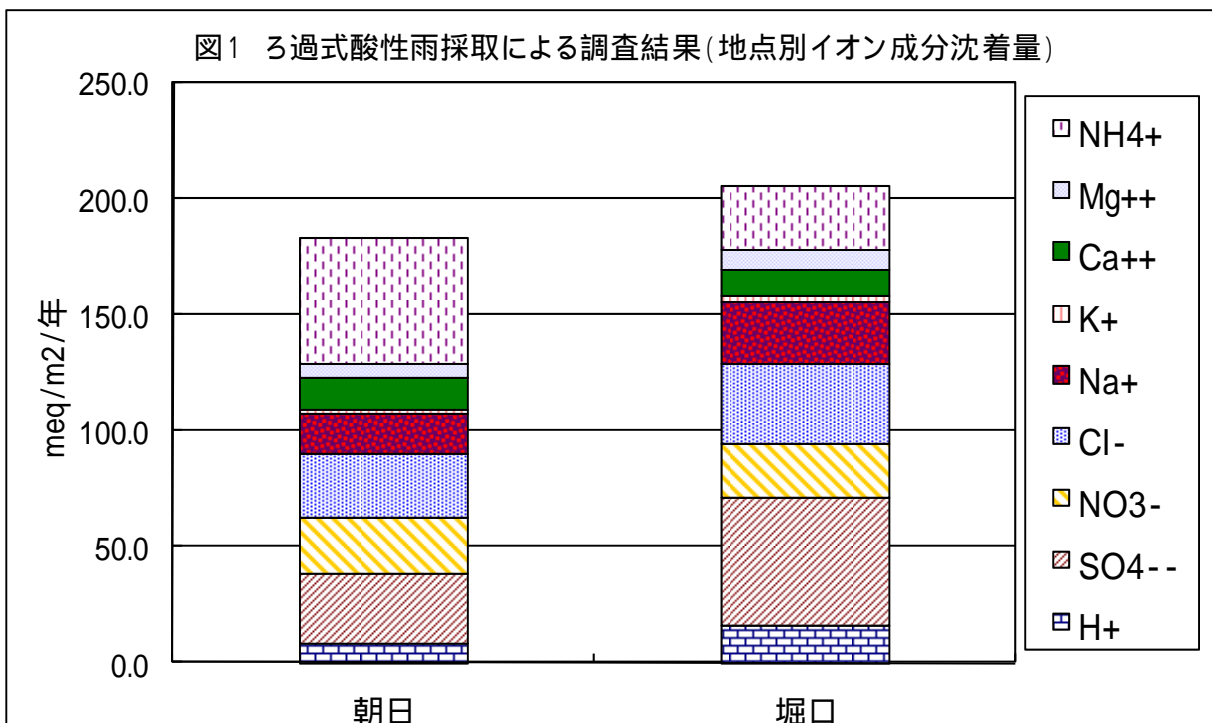


表-2 酸性雨の pH 平均値の推移

調査地点 \ 年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
朝日	5.3	4.8	4.6	4.8	4.7	4.7	4.6	5.0	4.9	5.0	4.9	5.1
堀口	5.3	4.7	4.5	4.6	4.5	4.5	4.5	4.9	4.6	4.8	4.8	5.0

